

◆船旅日和 散策メモ ー横須賀ー

三笠公園

横須賀市は人口約40万人の都市で、幕末には市南部の浦賀港に黒船が来航した。戦時中は日本海軍の拠点としての役割を果たし、現在は横須賀港の三笠公園に世界三大記念艦の「みかさ」が保存されている。この公園には音楽に合わせて動く噴水があり、日本の都市公園100選にも選ばれ、目の前には東京湾唯一の自然島・猿島も見える。

「三笠」は明治35（1902）年に建造され、日露戦争の日本海海戦の勝利に大きく貢献した、当時最新鋭の戦艦。

大正15（1926）年に記念艦として保存されることとなり、修復工事を経て公開された。

船内には当時使用されていた軍服や主機関の設計図が展示されている。

また、士官室や長官公室、デッキには砲台が再現されており、100年以上前に建造された信じられないほど重厚な造り。

よこすか海軍カレー

明治初期に日本海軍で蔓延していた脚気の予防法を確立したのは、後に海軍軍医総監となる高木兼寛でした。

その時に採用されたカレー風味のシチューに小麦粉でとろみをつけたメニューが、カレーライスの原型とされています。

海軍と共に歩んできた横須賀は、カレー発信の地として、平成11年5月20日に「カレーの街」を宣言しました。

海軍カレーを食べてみると、具材が細かく切られていて食べやすく、甘い優しさを感じました。